

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **748** February 2021

大原社会問題研究所雑誌

748 2021.2

Special Issue : Working Class Family and Children in the Industrial Britain

- Introduction to the Special IssueHARA Nobuko
Engels' *The Origin* and the Working Class Family.....HARA Nobuko
Child Labour and Child Health in the British Industrial Revolution:
A Review of Historiography NAGASHIMA Takeshi
Child Labour and Human Capital Accumulation during the Industrial Revolution
..... YAMAMOTO Chiaki, ISONO Shogo
Apprentices and Youth Labour in Scotland of the Early 20th Century, with Special
Reference to O. Gordon's *A Handbook of Employment* (1908)..... SAITO Kentaro
Endowment and Allowances for Children in Britain AKAGI Makoto

Article

- Gendered Recruitment and Training in Japanese Life Insurance Companies
..... KANAI Kaoru, SHIN Ki-young

Book Reviews

- TAKEDA Naoko, *War and Welfare: British Munition Factory and Women's Labor
during World War I* OKUDA Nobuko
HINOHARA Yumi, *British Welfare State as an Imperial Legacy and Migrants:
New Ties beyond the Nation State*..... NINOMIYA Gen

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

Monthly Research Meeting ENOKI Kazue, ITO Rinzo

The Institute's Activities in October 2020

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site: <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

e-mail: oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人
法政大学大原社会問題研究所
〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価(本体926円+税)
年間購読 12,000円(税込)

【特集】イギリス工業化社会における労働者階級家族と子どもたち

—Jane Humphries, *Childhood and Child Labour in the British
Industrial Revolution*を読む

- | | | |
|--|-----------|----|
| 特集にあたって | 原 伸子 | 1 |
| エンゲルス『起源』の「二つの生産」と労働者階級家族
—ジェーン・ハンフリーズの家族の相対的自律性論をめぐって | 原 伸子 | 7 |
| 産業革命期イギリスにおける子どもたちの労働と健康
—カービー=ハンフリーズ論争を中心として | 永島 剛 | 21 |
| 産業革命期の児童労働と人的資本蓄積
—イングランドにおける子どもの識字能力の推移 | 山本千映・磯野将吾 | 38 |
| 20世紀初頭スコットランドにおける若年労働と徒弟制をめぐって
—O. Gordon, <i>A Handbook of Employments</i> (1908)を読む | 齊藤健太郎 | 51 |
| イギリスにおける児童の扶養と手当
—1943-45年の児童手当の制度設計をめぐる議論を中心に | 赤木 誠 | 64 |

■論文

- | | | |
|---|------------|----|
| 生命保険営業職の採用と育成
—伝統的生保と後発型生保の比較ジェンダー分析 | 金井 郁・申 琪 榮 | 76 |
|---|------------|----|

■書評と紹介

- | | | |
|------------------------------|------|-----|
| 武田尚子著『戦争と福祉』 | 奥田伸子 | 96 |
| 日野原由未著『帝国の遺産としてのイギリス福祉国家と移民』 | 二宮 元 | 101 |

社会・労働関係文献月録 105

月例研究会 榎 一江・伊東林蔵 109

所 報 2020年10月 110

発行/法政大学大原社会問題研究所

発売所/法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

一年間に起きた社会・労働分野の変化と
課題がわかる貴重なデータブック

最新2020年版 第90集

日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

—おもな内容—

【序章】 政治・経済の動向と労働問題の焦点
〈特集1〉 『日本労働年鑑』の100年

—時代を反映した構成の推移
〈特集2〉 社会保障制度とその財源
—格差縮小による経済成長と
財政赤字のもとでの社会保障
財源の確保

- 第1部 労働経済と労働者生活
- 第2部 経営労務と労使関係
- 第3部 労働組合の組織と運動
- 第4部 労働組合と政治・社会運動
- 第5部 労働・社会政策

〈付録〉 労働組合の現状 / 労働組合名簿 / 統計 / 年表

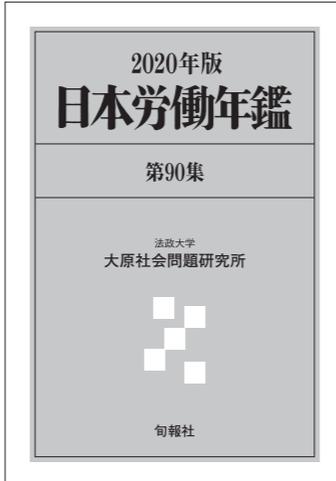
ハーバード大学歴史学部教授(日本近現代史、労働史)
アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心を呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦します

本年鑑5つの特徴

- ① その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ② 特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③ 政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④ 理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤ 社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。



本体15,000円+税
A5判・上製・544頁

70th ANNIVERSARY 旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F
電話(03)5579-8974 FAX(03)5579-8975 http://www.junposha.com/

日本労働研究雑誌

No.726 2021年1月号

定価 852円+税 年間購読 11,244円(税込)

特集「新たな労働市場における労働保険の役割」

■提言	労働保険の役割	菊池 馨実
■論文	新たな労働市場における労働保険の役割	西村健一郎
	労働保険におけるマルチジョブホルダーへの対応のあり方	河野 尚子
	労災保険における特別加入について——個人事業主と労災保険との関係	地神 亮佑
	失業給付の効果分析	小原 美紀
		沈 燕妮
		丸谷 浩介
■紹介	第二のセーフティネットとしての特定求職者支援法	
	労災保険における保険料の決定方法——業種区分およびメリット制における保険原理と使用者間負担調整の関係を中心に	北岡 大介
■研究ノート(投稿)	雇用によらない働き方におけるワーク・エンゲイジメントの規定要因——雇業者とフリーランスの比較分析	石山 恒貴
■書評	土岐将仁 著『法人格を越えた労働法規制の可能性と限界——個別的労働関係法を対象とした日独米比較法研究』	鎌田 耕一
	早川智津子 著『外国人労働者と法——入管法政策と労働法政策』	根岸 忠
■論文Today	なぜ失業保険市場は存在しないのか	小松 功拓
■フィールド・アイ	1950年代に逆もどり?——コロナ禍の仕事と子育て(ブリストルから②)	山下 順子

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23
☎03-5903-6255

労働の科学

Digest of Science of Labour

2020年12月号
75巻12号

12

定価 1,200円(税込)
年間購読 13,000円(税込)

【特集】希望と社会的参加 働くことの未来・持続可能な社会(3)

- ◆巻頭言<俯瞰>希望をつくる対話 暉峻淑子
- ◆ポスト・コロナの社会構想——分散型システムへの移行と「生命」の時代 広井良典
- ◆地方圏における持続可能な経済社会の創出——生活を支える仕事を創り、「なりわい」を育む 石井まこと
- ◆社会を支える「働く人」の安全と健康を考える 福成雄三
- ◆広がる参加型職場環境改善活動とその意義 吉川 徹
- ◆雇用形態間格差による分断を乗り越える——「働き方」ではなく「職務」を軸にした社会づくり 禿あや美
- ◆希望をつくる地域労働政策 上林陽治
- ◆安全衛生マネジメントシステムの活用促進から今後の安全衛生法令・対策のあり方を考える 古谷杉郎
- ◆働く場所と時間を自由に選択する「テレワーク・在宅勤務権」の確立を 亀岡秀人
- ◆女性活躍は社会と文化を変えるか——ドイツの女性クォータ制が示唆すること 飯田恵子

〒151-0051
渋谷区千駄ヶ谷1-1-12
桜美林大学内3階

公益財団法人
大原記念労働科学研究所

TEL: 03-6447-1435
FAX: 03-6447-1436
HP: http://www.isl.or.jp/